

ふかしまろこ  
深小

しちがつ  
七月

あんしょうちやれんじ  
暗唱ちやレンジ

七月しちがつの暗唱あんしょうちやレンジちやれんじは、松尾芭蕉まつおばしやうという江戸時代えどじだいの俳人はいじんの俳句はいく五句ごくです。どの俳句はいくも有名な俳句はいくですので、ぜひ覚えてくださいな。

まつおばしやう  
松尾芭蕉

古池や蛙飛びこむ水の音



【読み】 ふるいけや かわずとびこむ みずのおと

夏草や兵どもが夢の跡

【読み】 なつくさや つわものどもが ゆめのあと

閑さや岩にしみ入る蟬の声

【読み】 しずかさや いわにしみいる せみのこえ

五月雨をあつめて早し最上川

【読み】 さみだれを あつめてはやし もがみがわ

秋深き隣は何をする人ぞ

【読み】 あきふかき となりはなにを するひとぞ